

優良認定浄化槽ロゴマーク

適正に維持管理されている浄化槽を優良認定する新制度を始めた県浄化槽協会など県内4団体は6日、公募した制度のロゴマークの入賞者を表彰した。最優秀賞に、東日本デザイン&コンピュータ専門学校2年の神山由理さん(19)＝伊勢崎市＝の作品を選んだ。



県内4団体 シール化し配布

神山さん 伊勢崎 最優秀



2017
群馬県浄化槽関係四団体

受賞作品を手にする
神山さん(右)と山口
さんの受賞作

第2席の優秀賞は大
阪市のグラフィックデ
ザイナー、山口類さん
(69)が受賞した。2人
の作品はシール化さ
れ、神山さんの作品
は認定を受けた合併
処理浄化槽、山口さ
んの作品は単独処理
浄化槽の利用者に配布

する。表彰式は前橋市の県設備会館で実施。寄せられた123作品から選ばれた神山さんは「光栄でとてもうれい」と喜んだ。山や川が描かれた受賞作は、優良な浄化槽が自然を守ることを表現した。新制度は基準を満たした合併処理浄化槽を優良認定し、第1期は3060基が認められた。単独処理浄化槽は「管理良好」として評価するとともに、環境負荷の少ない合併処理浄化槽への転換を促す。表彰後には合併処理浄化槽の利用者代表2人に認定証が手渡された。浄化槽の点検業者が同市内を巡回し、適正管理を呼び掛ける啓発活動も実施した。